

「子どもたちの未来は、ふくしまの未来」。

新任教員から Message

小学校教諭

Elementary school



My step!

真剣に児童に向き合うことで、子どもたちも自分も成長していけるのがこの仕事の大きな魅力。



郡山市立朝日が丘小学校
教諭 菊地 智周

◎福島県の教員を志願した理由は？

中学2年生の時に、東日本大震災が起きました。先行きが見えず、不安だった私たちを必死に支えてくださった先生方の姿が、いつしか私の目標になりました。私は県外の高校、大学に進学しましたが、故郷のありがたさを忘れることはありませんでした。今度は私が福島未来を担う子どもたちを育てたい、という思いで福島県の教員を目指しました。

◎先生という仕事の魅力は？

子どもたちと触れ合う毎日の中で、その成長する姿を間近で見ると喜びを感じられることです。子どもが成長すると共に、自分自身の成長を感じることもできます。時には失敗続きで上手くいかないこともありますが、真剣に児童に向き合うことで、子どもたちも自分も成長していけるのが先生という仕事の魅力だと思います。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

明るく自分の思いを伝えられる子どもたち



ばかりで、一緒にいて楽しいです。生活や趣味について話すこともあり、毎日があっという間です。私がトランポリンの大会に出場する度に応援してくれます。教師をしながら全日本選手権レベルの競技を続けるのは容易ではありませんが「子どもたちのためにも頑張ろう」と力が湧いてきます。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

子どもたちが、委員会活動やボランティア活動、特設クラブなどの活動に主体的に取り

組んでいることです。合唱部は全国レベルです。私は特設陸上部の指導をしており、日々試行錯誤しながら、子どもたちの指導を行うことにやりがいを感じています。大会に向けて一生懸命に練習し、目標達成に向けて頑張る子どもたちの姿は美しい限りです。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

授業の準備や反省、児童との関わり合いなど、日々の積み重ねが子どもと教師を成長させるのだと、この1年間で実感しました。本気で取り組めば、子どもたちは必ず応えてくれます。私がそうであったように、これから一人でも多くの子どもたちに、将来「誰かのために何かをしたい」と思ってもらえるよう頑張っていきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

私たちと一緒に、福島未来のために仕事してみませんか？

先生が笑っていると、子どもたちも笑顔になる。
先生が頑張っていると、子どもたちも一生懸命になる。

小学校も、中学校も、高等学校も、特別支援学校も、子どもたちの未来をつくるのはいつだって先生。

ふくしまの新たな未来をつくる、子どもたちの未来を共に作りませんか。

新任教員から Message

中学校教諭

Junior high school



My step!

共に悩んでくれた中学時代の恩師のように、
生徒一人一人に寄り添い夢を後押しできる教員に。

白河市立東中学校
教諭(国語) 相楽 真子

◎福島県の教員を志願した理由は？

中学時代の恩師との出会いがきっかけでした。様々な不安を抱えていた私に寄り添い、共に悩んでくださった恩師のおかげで今の私があります。あの時親身になって支えていただいたように、今度は私が福島未来を担う子どもたちのために、少しでも力になりたいと思ったからです。

◎先生という仕事の魅力は？

生徒の成長をすぐ側で見守ることができることです。生徒は学校生活で日々様々なことを学び、吸収しています。学習面だけでなく人との関わり方を学び、内面的にも成長していく姿を見られるのは教員の特権だと思います。また私も生徒の成長する姿から学ぶことがたくさんあります。共に学び合えることも教員の魅力だと思います。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

本校の生徒は近隣の2つの小学校から入学

してきます。全校生が140人ほどの小さな学校ですが、誰に対しても思いやりを持ち接することができる明るく元気な生徒が多いです。授業や部活動、日常生活の中で自分のできることを精一杯やろうと取り組む姿からは、向上心と誠実さが伝わってきて私自身もたくさん励まされています。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

地域に根ざした学習活動に力を入れていることです。総合的な学習の時間では、地域の



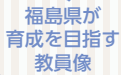
現状と課題を知り、よりよい未来のために今できることを考える「ひがし未来科 SDGs」に取り組んでいます。地域の人々との絆を深め、ふるさとを慈しむ心を育み、未来を生き抜く力が身に付く活動に、生徒が主体的に取り組んでいることが自慢です。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

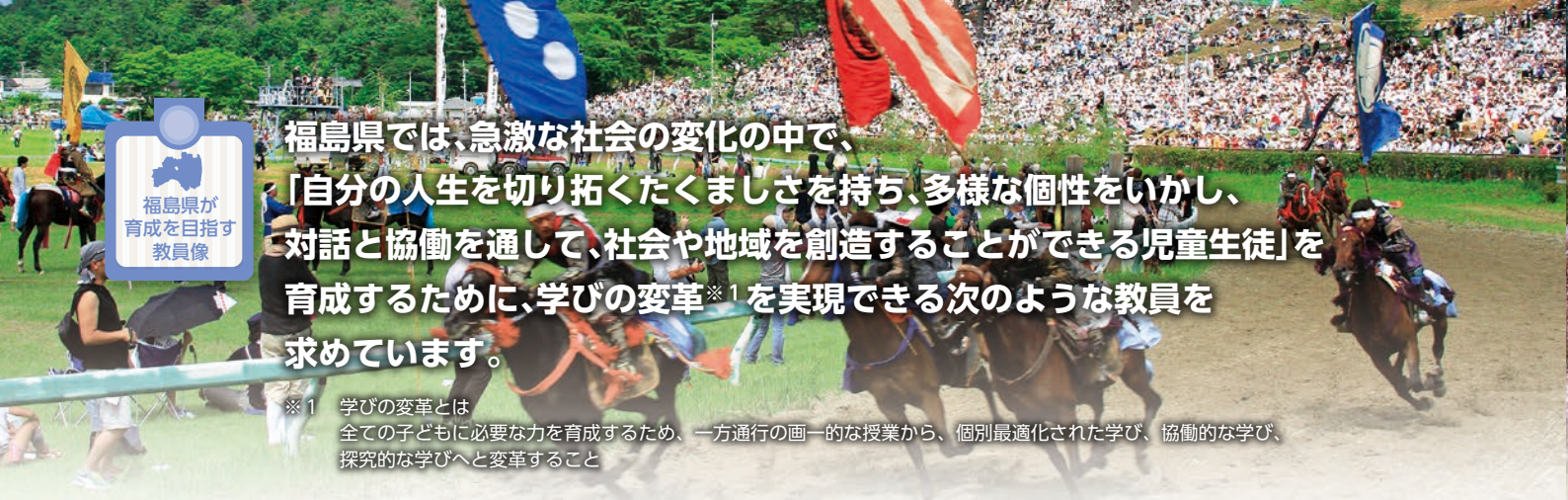
私を育ててくれたたくさんの人たちやふるさとへ恩返ししたいと思い、福島県の教員になりました。未来の福島を担う子どもたちの成長に貢献することこそが、教員のやりがいになると思います。生徒一人一人に寄り添い、夢へと向かう背中を後押しできる教員になることを目標に、これからも自己研鑽に励んでいきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

未来の福島のため、子どもたちのため、一緒に頑張りましょう！



福島県が
育成を目指す
教員像



福島県では、急激な社会の変化の中で、
「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、
対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる児童生徒」を
育成するために、学びの変革※1を実現できる次のような教員を
求めています。

※1 学びの変革とは
全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、
探究的な学びへと変革すること

新任教員から Message

高等学校教諭

Senior high school



My step!

震災の時支えてくれた先生方のおかげで今がある。
生まれ育った福島県に教育を通して恩返ししたい。

◎福島県の教員を志願した理由は？

生まれ育った福島県に恩返しがしたいと思ったのがきっかけです。私は、小学6年生の時に、東日本大震災を経験しましたが、今こうして生活を送ることができるのは、当時多くの先生方が尽力してくださったおかげです。教育を通して、福島のために貢献したいと思うようになり、教員を志願しました。

◎先生という仕事の魅力は？

子どもたちの成長に深く関われるところがです。子どもたちの人生に大きな影響を与えられるのは、子どもたちの保護者の次に教員だと思います。教員には、その分大きな責任があると思いますが、それに勝るやり甲斐を感じています。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

明るく元気な生徒が多く、学年を越えて仲がよい印象です。学校行事や部活動でも、先輩・後輩関係なく楽しそうに交流しているの



福島県立相馬東高等学校
教諭(商業科) 磯前 海斗

※福島県立相馬東高等学校は、令和4年4月1日より、福島県立新地高等学校と統合し、福島県立相馬総合高等学校となります。



をよく見かけます。一方で、総合的な探究の時間の集大成である「課題研究」では、3年生が一生懸命調査・研究に取り組み、全校生の前で素晴らしい研究発表を行っていて、頼もしさを感じます。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

総合学科である相馬東高校では、生徒の進路に応じて、5つの系列の特色ある科目群の中から科目選択を行える点が、大きな

魅力です。また、連携型中高一貫教育を行っている点も、特色のひとつです。わが校の教員が、相馬市内の中学校で授業を行ったり、部活動を通して交流したりするなど、地域の中学校と連携を図っています。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

福島県は面積が広く、浜通り、中通り、会津地域と、それぞれの地域の子どもたちや先生方との出会いがあることが、とても素晴らしいと思います。今後は、商業について学び続け、一人でも多くの子どもたちに「商業って面白い!」と思ってもらえる授業を行っていきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言!

自分の信じる道を突き進み、一緒に福島の子どもたちのために頑張りましょう!



「福島らしさ」※2をいかした多様性を力に変える教育と、 福島で学び福島に誇りを持つことができる 「福島を生きる」教育を実践する教員

※2 「福島らしさ」とは

- 「はま・なか・あいづ」に代表される広い県土だからこそ多様性、それぞれの地域の文化と歴史、豊かな自然環境といった独自性
- 人と人との触れ合いや支え合いの精神など、人々の温かさや絆が息づいている県民性
- 東日本大震災及び原子力災害によって他の地域よりも複雑で多くの課題を抱える中で、地域等の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けていること

新任教員から Message

特別支援学校教諭

Special-needs education school



My step!

適切な支援があれば広がる生徒たちの可能性。 障がいのある子どもたちの個性や強みを育てたい。

福島県立視覚支援学校
教諭(地理歴史) 添田 奈津子

◎福島県の教員を志願した理由は？

子どもたちには一人一人素敵な部分がたくさんありますが、障がいがあると上手く表現できないこともあります。私は、障がいのある子どもたちの個性や強みを十分に育てる仕事がしたい、また、生まれ育った故郷である福島県の復興に貢献したいと思い、福島県の教員を志願しました。

◎先生という仕事の魅力は？

生徒と笑ったり、悩んだりする時間を共有し、共に成長できることが魅力です。生徒たちは毎日様々な表情を見せてくれます。授業中だけでなく、授業後も生徒たちの素朴な疑問に答えることがあります。その豊かな感性に私自身学ぶことが多いです。「さようなら！」と微笑む生徒に、また明日会おうのが楽しみな毎日です。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

好きなテレビ番組の話をしたり、冗談を

言ったり笑い合ったり、様々なことに興味がある素直な生徒たちです。また、生徒同士で協力し合い、お互いの苦手なことを補って、自分のやりたいことにどんどん挑戦しています。人を思いやる心やバイタリティーにあふれた生徒たちです。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

本校では、元気いっぱい小学生から専攻科理療科の大人まで、幅広い年齢の児童生徒



が元気に学習しています。入学の背景や障がいの状態が異なるたくさんの生徒が集まり、学校行事や部活動に強い団結力で一丸となって取り組めることが大きな魅力です。みんなで「ONE TEAM」になれることが、とても自慢の学校です。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

特別支援学校に通う生徒は、適切な支援があればたくさんことができます。一緒に悩み考え、できなかったことができたとき、生徒たちと笑い合えることが何よりのやりがいです。生徒と共に成長していくことは、福島未来を創っていくことだと思います。生徒が「今日もいい日だった」と感じられるような実践を日々重ねていきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島の子どものために、一緒に頑張りましょう！



高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、
児童生徒に伴走しながら学び続ける教員

新任教員から Message

養護教諭

Nursing teacher



My step!

子どもたちと出会い積み重ねた経験を生かし
ふるさと福島の健康教育に貢献していきたい。



南会津町立館岩小学校
養護教諭 佐佐木 南

◎福島県の教員を志願した理由は？

私は令和2年度まで、他県で養護教諭をしていました。たくさん子どもたちと出会い、さまざまな教育実践を積み重ねる中で、「これまでの経験を生かし、ふるさと福島の健康教育に貢献したい」という思いが強くなりました。福島の未来を担う子どもたちをサポートできるのは、私にとってこの上ない幸せです。

◎先生という仕事の魅力は？

子どもたちの成長をすぐ側で見られることです。いつも泣きながら保健室に来る一人の男の子がいました。ある日、ケガをした子どもが泣き泣き来室した時、その子が「大丈夫だよ！」と背中をさすり励ました。おまけに「僕が教室まで付き添います！」と面倒を見るまでになりました。日々成長する子どもの姿は、私に頑張る力をくれます。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

子どもたちはとても素直で、一人一人がキ



ラリと光る素敵な個性をもっています。困っている友だちには優しい声を掛けたり、委員会活動では、私には思いつかないようなアイデアを出したりします。子どもたちと触れ合う毎日は、いつも新たな発見にあふれていて、楽しくて仕方がありません。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

田代山登山や館岩川での川遊び、年3回のスキー教室など、館岩小学校では豊かな自然

と触れ合える学校行事を数々行っています。さらに、県内で唯一、ゴルフ学習ができるのも、館岩小学校の自慢です。ここでしかできない貴重な自然体験が、何よりも魅力だと思います。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

福島県教育委員会の「ふくしまっ子健康マネジメントプラン」では、健康長寿実現に向けた未来にいきる資質・能力の育成が課題となっています。自分手帳の活用や授業実践を通して、子どもたちの自己マネジメント力を育み、健康課題の解決、そして未来の健康につながるサポートをすること。これが、私の一番の目標です。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

みなさんと一緒に福島の地で働ける日を、楽しみにしています！



心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかし、
チームとして多様化・複雑化する教育ニーズに対応する教員

新任教員から Message

合理的配慮の 申請による合格者



My step!

中学のとき聴覚障がいのある先生と出会って
耳が聞こえないからこそ伝えられると教わった。



福島県立平支援学校
教諭(小学部) 越前 由喜

◎福島県の教員を志願した理由は？

聾学校(現:聴覚支援学校)の中学部に入
学し、聴覚障がいのある先生に出会ったこと
がきっかけです。先生の姿から、耳の聞こえ
ない自分だからこそ子どもたちに伝えられる
ことがあると教わりました。自分が生まれ
育った福島の子どもたちに、障がいは乗り越
えるのではなく、向き合うことが大切だと伝
えたいと思ったからです。

◎先生という仕事の魅力は？

素晴らしい出会いや、日々の新しい学びなど、
魅力を挙げればきりがありません。とりわけ子
どもたちの成長を間近で見られることが、一番の魅
力だと思います。授業づくりや教材研究など、悩
んだり苦労したりすることはありますが、自分の
授業を通して子どもたちの成長を感じたときかと
てもうれしく、頑張ってたよかったです。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

私は、身体に障がいのある子どもたちと一

緒に勉強しています。とても明るく笑顔いっ
ぱいの子どもたちに元気をもらっています。
子どもたちも私の耳が聞こえないことを理解
し、名前を呼ぶときは肩をポンポンとたく
合図をくれて、手話や身振り手振りで一生懸
命に言いたいことを伝えようとしてくれます。

◎勤務している学校の魅力や 自慢できることは？

広々としていて施設も充実しているこの学
校で、子どもたちも先生方も熱心に学んでい



ます。授業づくりや教材研究でつまずいたと
ときには、解決に向けて周りの先生方も一緒に
悩みながらアドバイスをくださいます。手話
を学んだり、透明マスクを着けて会話してく
ださったりする先生も多く、優しさあふれる
学校です。

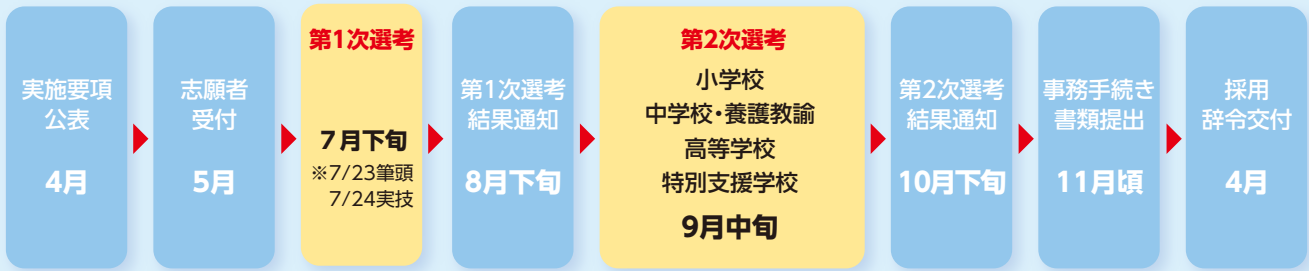
◎福島県の教員としてのやりがいや これからの目標は？

十年ほど前から夢見ていた教員となり、自
分が生まれ育った地元で子どもたちと一緒に
勉強ができてとても幸せです。大変なことも
たくさんありますが、子どもたちの頑張りや
成長を見られることがこの上ない喜びです。
私自身、スポーツが好きなので、障がいの有
無に関係なくスポーツの楽しさを子どもたち
に伝えていきたいです。

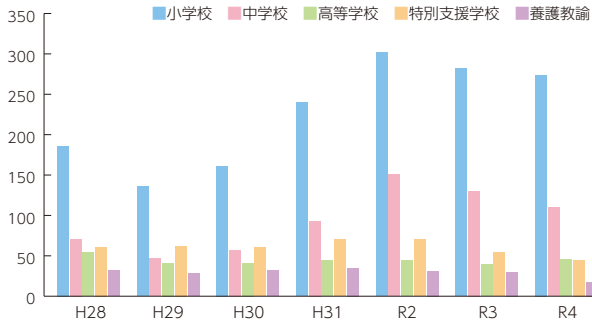
◎福島県の教員を目指す人へ一言！

毎日が楽しく、とてもやりがいのある
仕事です。一緒に頑張っぺ！

出願から採用までのスケジュール



合格者数実績



志願者・受験者・合格者・倍率 (令和3年度実施)

	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者数/合格者数)
小学校	448	426	272	1.6
中学校	600	579	110	5.3
高等学校	479	461	45	10.2
特別支援学校	184	174	45	3.9
養護教諭	177	173	18	9.6
合計	1,888	1,813	490	3.7

令和5年度選考試験(令和4年実施)における主な変更点

○ **小学校、特別支援学校小学部における体育、音楽の実技試験の廃止**
 小学校教諭、特別支援学校教諭小学部の第1次選考において、**実技試験(体育、音楽)を廃止**します。

○ **中学校における小学校との併願の導入**
 中学校教諭の**一般選考、特別選考Ⅱ**において、**小学校教諭との併願**を実施します。
 <受験資格>
 小学校教諭の普通免許状を取得している、または取得見込みの方

○ **中学校及び養護教諭における「地域採用枠」の設置**
 中学校教諭、養護教諭の一般選考、特別選考Ⅰ、特別選考Ⅱにおいて**「奥会津採用枠」「相双採用枠」を設定**します。
 <受験資格>
 奥会津地区又は相双地区に勤務を希望する方です。
 当該地区を中心に勤務できる方です。(県の人事計画により異動することもあります。)
 <募集人数> 若干名

○ **高等学校、特別支援学校高等部における特別選考Ⅳ(社会人経験等特別選考)の導入**
 高等学校教諭、特別支援学校教諭高等部において、必要とされる分野(教科)に関する優れた社会人経験等がある方を対象に特別選考Ⅳ(社会人経験等特別選考)を実施します。
 <令和5年度募集分野(教科)> 情報
 <受験資格>
次の(1)、(2)をいずれも満たす方
 (1) 次のア、イのいずれかの社会経験を有する方
 ア. 民間企業、官公庁、研究機関等において、ICT専門職もしくはこれに準じる職種に従事し、常勤で継続して2年以上勤務した経験のある方
 イ. 小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校、大学・短大、専門学校等の教員として、情報分野の指導やICTの活用・普及に従事し、常勤で継続して2年以上勤務した経験のある方
 (2) 独立行政法人情報処理推進機構が行う次のア～エのいずれかの試験に合格している方
 ア. 基本情報技術者試験

イ. 情報セキュリティマネジメント試験
 ウ. 応用情報技術者試験
 エ. 情報処理技術者試験要綱の試験区分にもとづく高度試験
 <募集人数> 若干名

○ **高等学校における特別選考Ⅲの募集分野(種目)の変更**
 高等学校教諭において、必要とされるスポーツ・芸術等の分野(種目)に関する優れた実績がある方を対象に実施する特別選考Ⅲ(スポーツ・芸術等特別選考)は、以下の分野(種目)を募集します。
 <令和5年度募集分野(種目)> スポーツ:ウエイトリフティング
 <受験資格>
 国際規模の大会に出場した方又は全国規模の大会で特に優秀な実績を有する方(団体競技にあっては正選手として登録され出場した方)又はこれらの方を指導育成した実績(経験)を有する方
 <募集人数> 若干名
 ※令和5年度は、芸術分野の募集は行いません。特別選考Ⅲは、必要のある場合に限り実施します。

○ **英語教科試験における加点基準の変更**
 (1) 小学校教諭、特別支援学校教諭小学部の志願者
 ① 実用英語技能検定2級以上
 ② TOEFL iBT 42点以上
 ③ TOEIC L&RのスコアとTOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアが1150以上
 (2) 中学校教諭、特別支援学校教諭中学部の英語志願者
 ① 実用英語技能検定準1級以上
 ② TOEFL iBT 72点以上
 ③ TOEIC L&RのスコアとTOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアが1560以上
 (3) 高等学校教諭、特別支援学校教諭高等部の英語志願者
 ① 実用英語技能検定1級以上
 ② TOEFL iBT 95点以上
 ③ TOEIC L&RのスコアとTOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアが1845以上

※詳しくは「令和5年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験第一次案内」及び実施要項(令和4年4月下旬公表)をご覧ください。

福島県教育庁

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

問合せ先

義務教育課 教員採用担当 **TEL024-521-7761**
 高校教育課 教員採用担当 **TEL024-521-7770**
 特別支援教育課 教員採用担当 **TEL024-521-7765**

Twitterでも教員採用の情報を発信しています。
 「福島県教員採用」で検索してください。
 義務教育課HPIにリンクを掲載しています。